

大型トラック 電制エアドライヤー（セントラルシャシ入出力モジュール）のリコールについて

（届出日：令和3年12月17日 開始日：令和3年12月17日）

リコール番号 5078

本リコールは、令和4年2月17日に届出したリコール届出番号5102「電制エアドライヤー（セントラル入出力モジュール）」に統合されました。詳しくは、リコール届出番号5102をご覧ください。

令和3年12月17日、UDトラックス株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんが、ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしく願い申し上げます。
対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

大型トラックの電制エアドライヤーにおいて、セントラルシャシ入出力モジュールのエアドライヤー再生プログラムが不適切なため、当該ドライヤー乾燥再生動作が適切な頻度に行われず高湿度の圧縮空気が供給先のエアタンク及びトレーラーブレーキ回路内で結露し凝縮水が生成されます。そのため、そのままの状態で使用を続けると、高湿度の圧縮空気が各回路に供給され結露によるシステム異常等の警告メッセージが表示され、最悪の場合、トレーラー側ブレーキ回路内で凝縮水が凍結し、トレーラー側の主ブレーキが効かない、または駐車ブレーキ引きずりにより火災に至るおそれがあります。

2. 改善の内容

全車両、セントラルシャシ入出力モジュールのプログラムを、対策プログラムに書き換えます。
また、初年度登録から2カ月以上経過した車両は、エアドライヤーのエア出力ポートを点検し乾燥剤の粒子等が付着している場合は、エアドライヤーカートリッジを新品に交換します。

3. 対象車両

- UDトラックス株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
UD トラックス	2PG-CW5BL 2PG-CW5BL改	「クオン」	JNCMBP0D4MU060938 ~ JNCMBP0D4MU067587 令和3年3月22日 ~ 令和3年11月18日	21	ピンドルフック付 フルトレーラー
	2PG-CW5CA		JNCMBP0D4MU067576 令和3年11月15日	1	
	2PG-CW5CL 2PG-CW5CL改		JNCMBP0D7MU060938 ~ JNCMBP0D2MU067829 令和3年3月18日 ~ 令和3年11月22日	5	
	2PG-GK5AAB 2PG-GK5AAB改		JNCMB22A8MU058782 ~ JNCMB22A3MU068137 令和3年3月5日 ~ 令和3年12月1日	1,119	
	2PG-GK5AAD		JNCMBP0A3MU060540 ~ JNCMB22A7MU068142 令和3年3月5日 ~ 令和3年12月1日	318	
	2PG-GK5AAE		JNCMB22A9MU060560 ~ JNCMBP0A7MU067895 令和3年3月9日 ~ 令和3年11月25日	73	
	2PG-GK5AAK		JNCMB02A3MU060989 ~ JNCMB02A3MU061608 令和3年3月19日 ~ 令和3年4月30日	2	
(計 7型式)	(計 1車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和3年3月5日 ~ 令和3年12月1日	(計 1,539台)		

交換修理用部品が、組み付けられた車両の範囲

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲	リコール対象車の台数	備考
UD トラックス	2PG-GK5AAB	「クオン」	JNCMB22A2LU043569 ~ JNCMB22A7MU059150	2	
	2PG-GK5AAD		JNCMB22A4LU054261	1	
	2PG-GK5AAE		JNCMB02A0MU057857	1	
				(計 4台)	

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

UDトラックス株式会社 お客様相談室

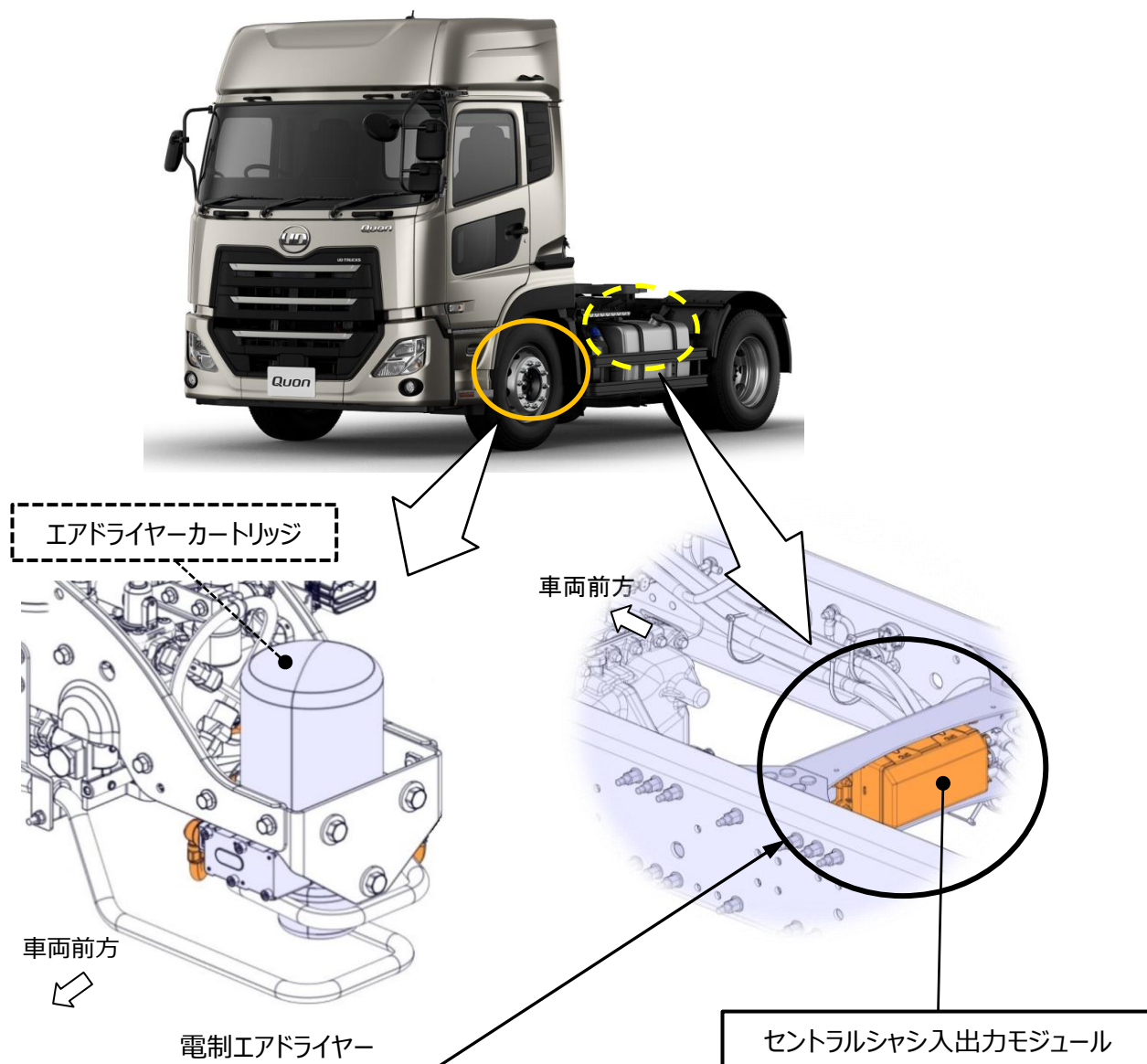
〒362-8523 埼玉県上尾市大字老丁目1番地

フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

大型トラックの電制エアドライヤーにおいて、セントラルシャシ入出力モジュールのエアドライヤー再生プログラムが不適切なため、当該ドライヤー乾燥再生動作が適切な頻度にて行われず高湿度の圧縮空気が供給先のエアタンク及びトレーラーブレーキ回路内で結露し凝縮水が生成されます。そのため、そのままの状態で使用を続けると、高湿度の圧縮空気が各回路に供給され結露によるシステム異常等の警告メッセージが表示され、最悪の場合、トレーラー側ブレーキ回路内で凝縮水が凍結し、トレーラー側の主ブレーキ効力低下または駐車ブレーキ引きずりにより火災に至るおそれがあります。

改善の内容

全車両、セントラルシャシ入出力モジュールのプログラムを、対策プログラムに書き換えます。また、初年度登録から2カ月以上経過した車両は、エアドライヤーのエア出力ポートを点検し乾燥剤の粒子等が付着している場合は、エアドライヤーカートリッジを新品に交換します。

注： 内は、措置する部品を示し、 内は必要に応じて交換する部品を示す。

識別：作業完了車は、助手席ステップ部VINプレート左上端に黄色ペイントを塗布する。